



2019年度 新井南小学校グランドデザイン みなみっ子プラン

日常の行動規範
コミュニケーション3原則

「気付き、考え、行動する」ことを心掛けよう。
“Clear voice” “Eye contact” “Smile”

校区の状況

- ・校区が広い。
- ・人口が減少している。(少子高齢化)
- ・保護者・地域は教育に理解がある。

児童の実態

- ・素直で、主体的に物事に取り組む。
- ・総体的に明るく、元気である。

保護者・地域の願い

- ・伸び伸びと育ててほしい。
- ・幸福な人生を歩んでほしい。

教育目標

考える子 やさしい子 たくましい子

重点目標・目指す子どもの姿

「自ら考え、学ぶ子」

- ・物事に関心(問題意識、課題意識)をもっている。
- ・試行錯誤しながらも問題解決・課題解決を目指し取り組み続ける。

「友だちと仲よく行動する子」

- ・美しいものや素晴らしいものに対する感性をもっている。
- ・他者の気持ちに思いを寄せ、他者とのかわり方を考え行動する。

「健康を考え、生活する子」

- ・基本的生活習慣を身に付けている。
- ・目標をもち、忍耐強く困難を乗り越えようとする。

今年度の重点

- ・全校体制で授業改善に取り組み、「主体的・対話的で深い学び」がある授業を目指す。

〈研究推進部〉

- ・委員会活動や縦割り班活動など児童が主体的に取り組む活動を強化し、人間関係形成能力の育成・向上を目指す。
- ・基本的生活習慣の確立に取り組む。特に、メディアの選択や接する時間を自己決定できる力の育成を目指す。

〈生活指導部〉

具体的実践事項

- ・「みなみタイム」(生活科・総合的な学習の時間)を中核として各教科・領域と関連させた単元を計画し実践する。

- ①単元のはじめや授業では、見通しをもてるような学習課題を提示する。

- ②授業の終末や単元の終わりに振り返り(考えたことや感じたことを絵やことばで表現)を行う。次の学びにつなげる。

- ・外国語活動でのコミュニケーション活動を充実させる。

- ①自らの考えや思いを進んで表現したくなるような学習課題を提示する。

- ②相手意識をもって、人とのかわりやつながることの楽しさを感じる場を設ける。

- ・「ふわふわ言葉を伝えよう」をめあてにし、温かい言語環境が整うように、学期に1回以上お便り等で児童の様子を伝え、保護者の協力を得る。

- ・リーダーシップやフォロワーシップを育てるために、児童から意見を出す場(学級会、委員会等)を設け、行事や活動の事前事後指導を確実に行う。

- ・「朝!元気スタート運動」や「メディア接触コントロールデー」を学期に1回実施し、事前指導や途中のフォロー、事後の振り返りの場を設け、生活がよりよくなるように支援する。

期待する児童の変容及び目標

- ・妙高や他地域の人・もの・こととすすんで関わっている児童が80%以上。

- ・考えたことや感じたことを絵や言葉で表現し、振り返ることができる児童が80%以上。

- ・外国語でいろいろな人とコミュニケーションがとれた児童が80%以上。

- ・自分の周りの人に温かい言葉(ふわふわ言動、あいさつ)を伝え、よりよい人間関係を築いている児童が90%以上。

- ・縦割り班活動を楽しみし、相手や仲間のことを考えた言動ができる児童が80%以上。

- ・健康的な生活習慣を身に付け、メディアの選択や接する時間を自己決定できる児童が85%以上。

楽しい学校

関係機関との連携

妙高市・妙高市教育委員会

- ◎小規模特認校指定校
- 個に応じた指導の充実
- 全校体制の外国語教育
- 地域学習の充実

ひまわり保育園

- 保育園との連携・交流
- アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの実施

上越教育大学

- 学校支援プロジェクト
- 課題研究プロジェクト

中学校区の連携

- 連携組織による取組
- 授業交流の推進

保護者・地域・地域人材

- コミュニティ・スクールの充実
- 学習活動への参加・協力